
NetCommons インストール LAMP 編

NetCommons のための
Linux ・ Apache ・
MySQL ・ PHP インス
トール

ver. 1.4

NetCommons2.2/2.3 対応

株式会社テクネコ 加藤

内容

1.	はじめに.....	4
2.	ご利用上の注意.....	5
3.	免責事項.....	5
4.	動作環境.....	5
5.	CentOS のインストール.....	6
5.1.	インストーラの起動.....	6
5.2.	メディアのテスト.....	7
5.3.	言語の選択.....	7
5.4.	キーボードの設定.....	7
5.5.	アップグレードの検証.....	7
5.6.	ディスクパーティションの設定.....	8
5.7.	ネットワークの設定.....	8
5.8.	タイムゾーンの選択.....	9
5.9.	root パスワードを設定.....	9
5.10.	インストールパッケージの選択.....	9
	[サーバー]-[MySQL データベース].....	10
	[サーバー]-[Web サーバー].....	10
5.11.	パッケージのインストール.....	11
5.12.	インストールの完了.....	11
5.13.	ブートとインストール後の設定.....	12
5.14.	ファイアウォールの設定.....	12
5.15.	SELinux の設定.....	13
5.16.	日付と時刻の設定.....	13
5.17.	ユーザーアカウントの設定.....	13
5.18.	サウンドカードの設定.....	13
5.19.	追加の CD.....	13
6.	Apache と MySQL の自動起動設定.....	14
7.	PHP の設定.....	15
7.1.	PHP パッケージの追加インストール.....	15
7.2.	php.ini ファイルの設定.....	16
8.	MySQL の設定.....	18
9.	NetCommons のインストール.....	20
9.1.	NetCommons のダウンロード.....	20
9.2.	Apache の設定.....	21
9.3.	install.php の実行.....	22

10.	NetCommons の初期設定	27
11.	付録 A : データベースの初期化	27
12.	参考情報	29
12.1.	NetCommons 関連書籍	29
12.2.	CentOS 関連書籍	29
13.	便利なソフトウェア	29
13.1.	Tera Term	29
13.2.	phpMyAdmin.....	30
13.3.	WinSCP.....	30
14.	フィードバック	30
15.	ご案内	30

1. はじめに

このドキュメントは、CentOS 5 (Linux)と Apache・MySQL・PHP の組み合わせで、NetCommons をインストールする手順について説明しています。

CentOS は、Red Hat Enterprise Linux との互換性が高く、サーバー用途の Linux ディストリビューションとして人気があります。NetCommons は CentOS 以外の Linux ディストリビューションや FreeBSD でも動作します。CentOS 以外を使う場合は、ファイルの名前やファイルが置かれているディレクトリが異なることがあります。適宜、読み替えてください。

このドキュメントは Linux について基本知識があることを前提としています。Linux の基本操作などは説明しません。市販書籍やその他の情報と合わせてご利用ください。

以下のソフトウェアとバージョンの組み合わせで NetCommons をインストールします。バージョンが異なると設定方法が変わる可能性があります。

本文中の説明や画面は NetCommons 2.1.1.0 になっていますが、2.2 や 2.3 でも基本的なインストール手順は同じです。必要に応じて、読み替えてください。

注) NetCommons 2.1 および 2.2.0.0 は PHP 5.3 に対応していません。PHP 5.3 を利用する場合は、NetCommons 2.2.0.1 以上が必要です。

- OS: CentOS 5.3
- Web サーバー: Apache 2.2.3
- データベース: MySQL 5.0.45
- 言語: PHP 5.1.6
- NetCommons 2.1.1.0

2011年8月追記：

以下の組み合わせでインストールを確認しました。

- OS: CentOS 5.5
- Web サーバー: Apache 2.2.3
- データベース: MySQL 5.0.77
- 言語: PHP 5.1.6
- NetCommons 2.3.2.0

参考：CentOS 5.5 の上で、MySQL 5.5.15 と PHP 5.3.6 の組み合わせでも NetCommons 2.3.2.0 をインストールできました。

2. ご利用上の注意

1. このドキュメントは NetCommons を手軽にインストールして評価していただくことを目的としています。NetCommons の機能を体験し評価する目的でご利用ください。特定の機能が正しく作動しない場合、及びそれがもたらす諸影響に関して、当社は一切の責任を負いません。
2. CentOS 専用のパソコンをご用意いただくことを強く推奨します。Windows が動作しているパソコンに CentOS をインストールした場合、パソコン内の Windows ファイルの安全とプログラムの動作について、当社は一切の責任を負いません。
3. このドキュメントでは、セキュリティー関連の設定について最小限の記述となっています。Linux を自分でインストールすることは、セキュリティー管理についてすべての責任を負うこととなります。他のドキュメントなどを参照いただき、セキュリティー管理に十分配慮してください。

3. 免責事項

1. 本ドキュメントに掲載したコンテンツは、正確な情報を提供すべく、構成・プログラミングしていますが、当社は、当ドキュメントに掲載した情報の完全性、正確性および適時性について何ら保証するものではありません。
2. 当社は、本ドキュメントの内容に関し、それらが第三者の権利を侵害しないことの保証、特定の用途に適合することの保証及び商品として通常期待される性能を有している旨の保証を含め、いかなる種類の保証を行うものでもありません。
3. 当社は、本ドキュメントのコンテンツの閲覧および利用から生じた、直接的、間接的な損害、機会損失、機器への損害やウイルス感染、または債務など、いかなる損害についても責任を負うものではありません。

4. 動作環境

NetCommons をインストールするパソコン（以下、NetCommons サーバーと記述します）が必要です。一般に Windows XP 以降に発売されたパソコンであれば、NetCommons サーバーとして十分な性能があります。一部国産メーカーの特殊なハードウェア構成の機種では、CentOS がうまく動作しない可能性があります。

推奨最低動作環境

- CPU: Pentium 4 以上
- メモリ: 最小 512MB 推奨 768MB 以上
- ディスク: 空きディスク容量 8GB 以上

- DVD ドライブ 必須
- ネットワークに接続されていることを推奨
- インターネットにアクセスできることを推奨

5. CentOS のインストール

CentOS のインテル系 CPU 向け (i386 版) のインストール DVD を使用します。ダウンロード URL は <http://isoredirect.centos.org/centos/5/isos/i386/> です。適当なサイトから DVD の ISO イメージ `CentOS-5.3-i386-bin-DVD.iso` をダウンロードし、DVD-ROM に焼いて用意してください。

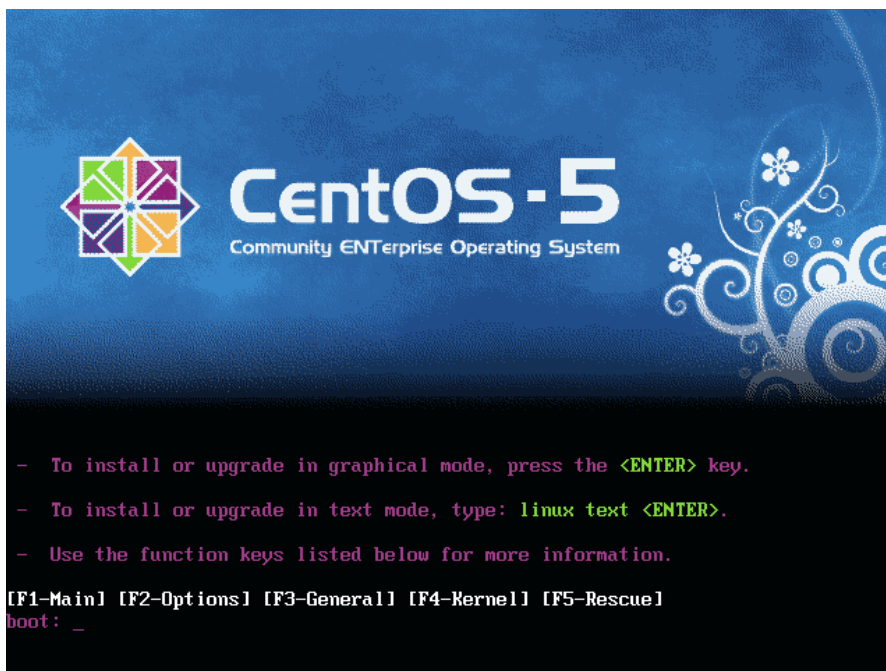
日経 BP の ITPro の Web サイト に CentOS 5.3 の「インストール完全ガイド」があります。CentOS のインストールはこちらを参考にしてください。

<http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20090403/327762/>

以下、「インストール完全ガイド」のインストール手順に従って、CentOS をインストールします。このドキュメントでは NetCommons のインストールに必要な要点のみを説明します。節番号は、「インストール完全ガイド」に合わせてあります。

5.1. インストーラの起動

グラフィカル・モードでインストール作業を進めます。画面下に「boot:」と表示されたら [Enter] キーを押して次に進みます。



5.2. メディアのテスト

メディアのテストは時間がかかります。DVD が正しく作成できていれば、メディアのテストは不要です。スキップしてかまいません。



5.3. 言語の選択

インストール作業中に使用する言語は[Japanese (日本語)]を選択します。

5.4. キーボードの設定

日本語キーボードの場合は、[日本語]を選択します。

5.5. アップグレードの検証

新規インストールの場合、以下の画面が表示されます。ハードディスクをすべて消去してよければ、[はい]をクリックします。



5.6. ディスクパーティションの設定

サーバーを NetCommons 専用にする場合は、[選択したドライブ上のすべてのパーティションを削除してデフォルトのレイアウトを作成します。]を選択します。詳細は NetCommons サーバーのディスク構成に合わせてください。

5.7. ネットワークの設定

各サイトの事情に合わせて、ホスト名と IP アドレスを指定、または DHCP サーバーから動的に割り当てられるように設定します。NetCommons サーバーは固定 IP アドレスにすることを推奨します。



The image shows a CentOS network configuration window. At the top is the CentOS logo and name. Below it, the title is "ネットワークデバイス" (Network Devices). There is a table with columns: "起動時にアクティブ" (Active at startup), "デバイス" (Device), "IPv4/ネットマスク" (IPv4/Netmask), and "IPv6/プレフィックス" (IPv6/Prefix). The first row shows a checked box, "eth0", "192.168.0.12/24", and "無効" (None). To the right of the table is a "編集(E)" (Edit) button. Below the table is a "ホスト名" (Hostname) section with the text "ホスト名を設定:" (Set hostname:). There are two radio buttons: "DHCP経由で自動設定(A)" (Automatic configuration via DHCP) and "手動設定(M)" (Manual configuration). The "手動設定(M)" option is selected, and there is a text input field containing "nc.hogehoge.co.jp" with a hint "(例、 host.domain.com)". Below this is a "その他の設定" (Other settings) section. It includes a "ゲートウェイ(G)" (Gateway) field with "192.168.0.1", a "1 番目の DNS(P)" (1st DNS) field with "192.168.0.1", and a "2 番目の DNS(S)" (2nd DNS) field which is empty. At the bottom left is a "リリースノート(B)" (Release Notes) button, and at the bottom right are "戻る(B)" (Back) and "次(N)" (Next) buttons.

5.8. タイムゾーンの選択

[アジア/東京]を選択します。

5.9. root パスワードを設定

パスワードは大文字小文字が区別されます。root のパスワードを忘れないようにします。

5.10. インストールパッケージの選択

[Server]をチェックします。[今すぐカスタマイズする]を選択して、[次]をクリックします。[サーバー]グループをクリックします。[サーバー]グループの中で NetCommons を動かすために最低限必要なのは、[MySQL データベース]と[Web サーバー]です。[MySQL データベース]と[Web サーバー]をチェックします。その他のパッケージは、必要に応じて選択または非選択してください。



[サーバー]-[MySQL データベース]

[MySQL データベース]を選択して、[オプションパッケージ]をクリックします。

標準のパッケージ選択に加えて、[php-mysql]をチェックして、[閉じる]をクリックして戻ります。



[サーバー]-[Web サーバー]

[Web サーバー]をチェックして、[オプションパッケージ]をクリックします。

[php]と[php-mysql]がチェックされていることを確認して、[閉じる]をクリックして戻ります。



その他のパッケージの選択は任意です。

5.11. パッケージのインストール

ファイルのコピーが始まります。30 分前後かかります。

5.12. インストールの完了

DVD をドライブから取り出して、[再起動]をクリックして、NetCommons サーバーを再起動します。



5.13. ブートとインストール後の設定

再起動すると初期設定画面が表示されます。[進む]をクリックします。



5.14. ファイアウォールの設定

ファイアウォールの設定は[有効]にします。[WWW(HTTP)]に必ずチェックを付けます。ネットワーク上の他のパソコンから端末ソフトウェアを使ってログインする場合は、[SSH]にチェックを付けます。その他の設定は任意です。



5.15. SELinux の設定

本番稼働用のインストールでは、SELinux の設定で[Enforcing]を選択して、セキュリティーを正しく設定することを推奨します。評価用のインストールでは[Enforcing]以外にしておいた方がセキュリティー設定は簡単になります。SELinux の設定方法は他のドキュメントを参照してください。



5.16. 日付と時刻の設定

NetCommons サーバーがインターネットに接続されている場合は、[ネットワークタイムプロトコル]タブで正確な時間を取得するタイム・サーバーを設定できます。

5.17. ユーザーアカウントの設定

任意です。

5.18. サウンドカードの設定

サーバー用途ですので、サウンドカードは使いません。

5.19. 追加の CD

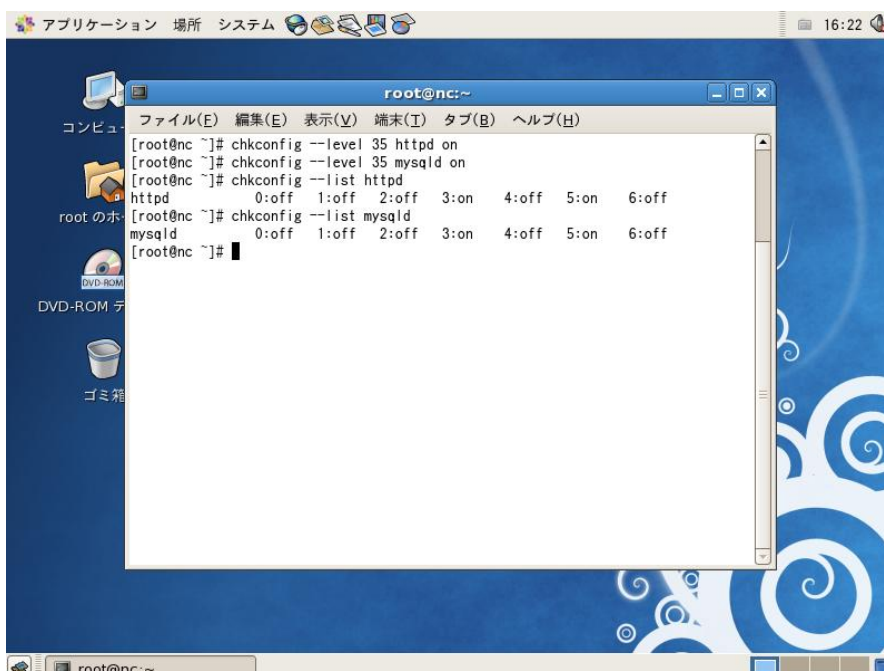
[終了]ボタンをクリックします。以上で設定完了です。NetCommons サーバーを再起動します。



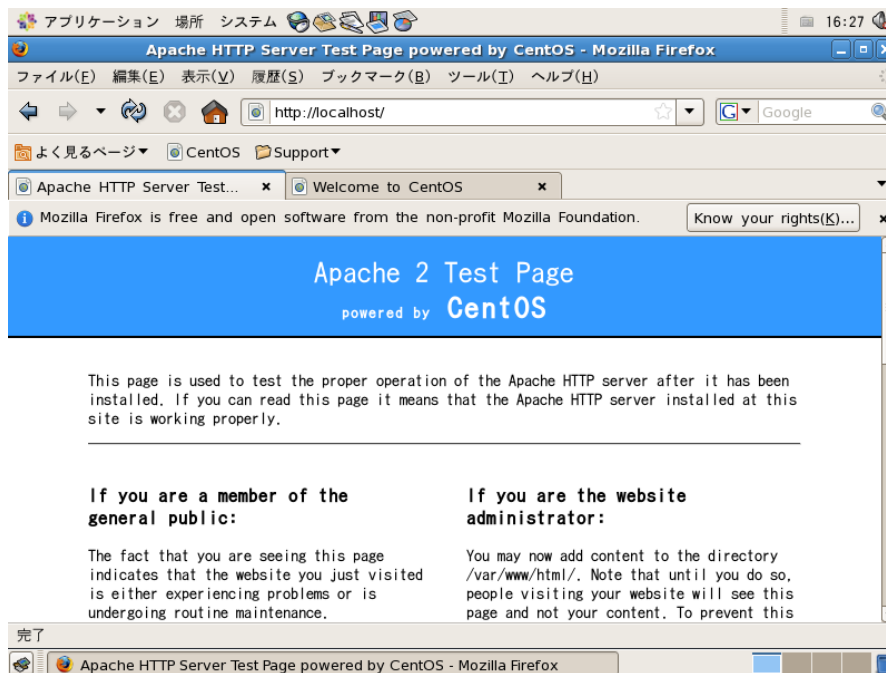
6. Apache と MySQL の自動起動設定

以下の手順にしたがって、CentOS を起動した時に Apache と MySQL が自動的に起動するように設定します。

1. ログイン画面で **root** ユーザでログインします。
注) 通常は **root** 以外のユーザでログインすることを推奨します。
2. [アクセサリ]-[GNOME 端末]を選択します。
3. **chkconfig** コマンドで **httpd** サービスと **mysqld** サービスを自動起動に設定します。他のプロセスに合わせて、ランレベル **3** と **5** で起動するようにしておくとい良いでしょう。



4. CentOS を再起動します。[MySQL を起動中]の後でエラーメッセージが出る場合があります。これは MySQL の管理者パスワードが設定されていないためです。後で設定しますので無視してかまいません。
5. root でログインして、NetCommons サーバー上で[アプリケーション]-[インターネット]-[Firefox Web Browser]を起動します。Firefox で <http://localhost> にアクセスして、以下のように表示されれば、Apache は起動しています。

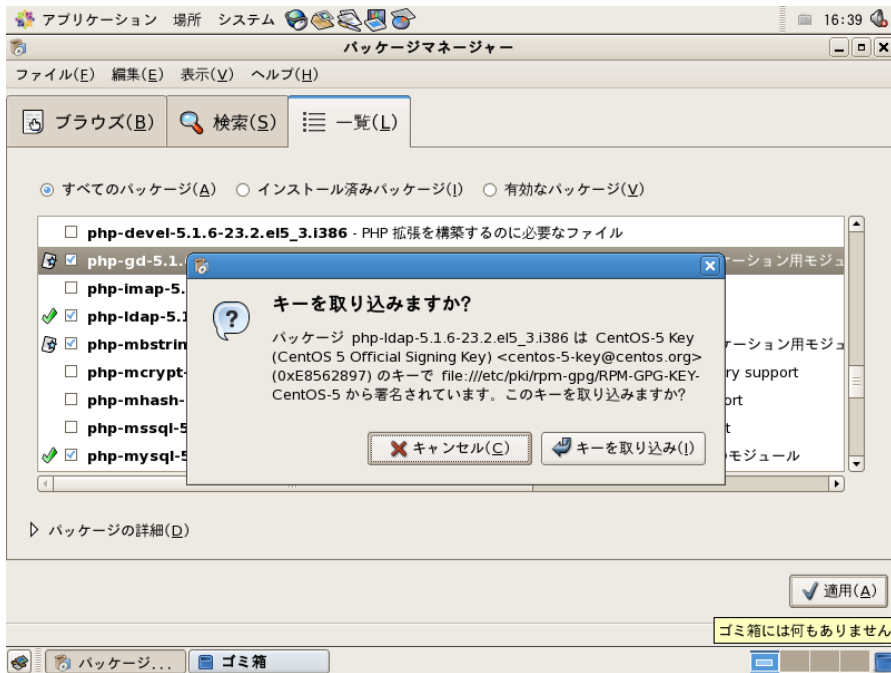


7. PHP の設定

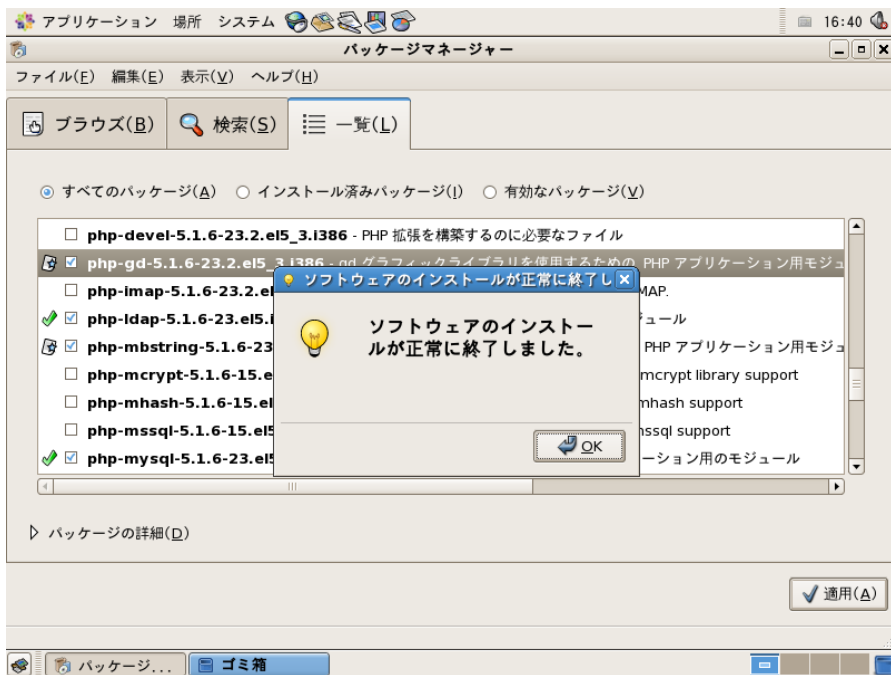
7.1. PHP パッケージの追加インストール

NetCommons をインストールする前に、php の追加パッケージをインストールする必要があります。追加パッケージのインストールはインターネット接続が必要です。

1. root でログインして、[アプリケーション]-[ソフトウェアの追加/削除]を選択します。
2. [一覧]タブをクリックして、[php-mbstring]と[php-gd]をチェックします。[php]、[php-mysql]、[zlib]がインストール済であることを確認します。インストールされていない場合はチェックします。確認したら、[適用]をクリックして、パッケージをインストールします。必要に応じて、[キーを取り込み]をクリックして続行します。



3. インストールが終了したら、[OK]をクリックして、パッケージマネージャーを終了して、デスクトップに戻ります。



7.2. php.ini ファイルの設定

1. エディタで/etc/php.ini ファイルを以下のように設定して保存します。先頭がセミコロン(;)で始まる行はコメントで無効になっています。設定する行は、セミコロンをはずします。

初期状態

[mbstring]


```
;mbstring.language = Japanese
;mbstring.internal_encoding = EUC-JP
;mbstring.http_input = auto
;mbstring.http_output = SJIS
;mbstring.encoding_translation = Off
;mbstring.detect_order = auto
;mbstring.substitute_character = none;
;mbstring.func_overload = 0
;mbstring.strict_encoding = Off
```

変更後

```
[mbstring]
;mbstring.language = Japanese
mbstring.internal_encoding = UTF-8           コメントをはずして変更
mbstring.http_input = pass                 コメントをはずして変更
mbstring.http_output = pass              コメントをはずして変更
mbstring.encoding_translation = Off       コメントをはずす
;mbstring.detect_order = auto
;mbstring.substitute_character = none;
mbstring.func_overload = 0                 コメントをはずす
;mbstring.strict_encoding = Off
```

注) default_charset はコメントになっているはずですが、コメントのままにします。変更しません。
;default_charset = "iso-8859-1"

注) PHP5.3 を利用する場合は、以下のように timezone の記述が必要です。

```
[Date]
date.timezone = 'Asia/Tokyo'
```

注) PHP5.2.9 以降で「;mbstring.strict_encoding = Off」の行が存在しないことがあります。
strict_encoding ディレクティブは存在しないディレクティブです。設定する必要はありません。なお、strict_detection は Off または設定無しにします。

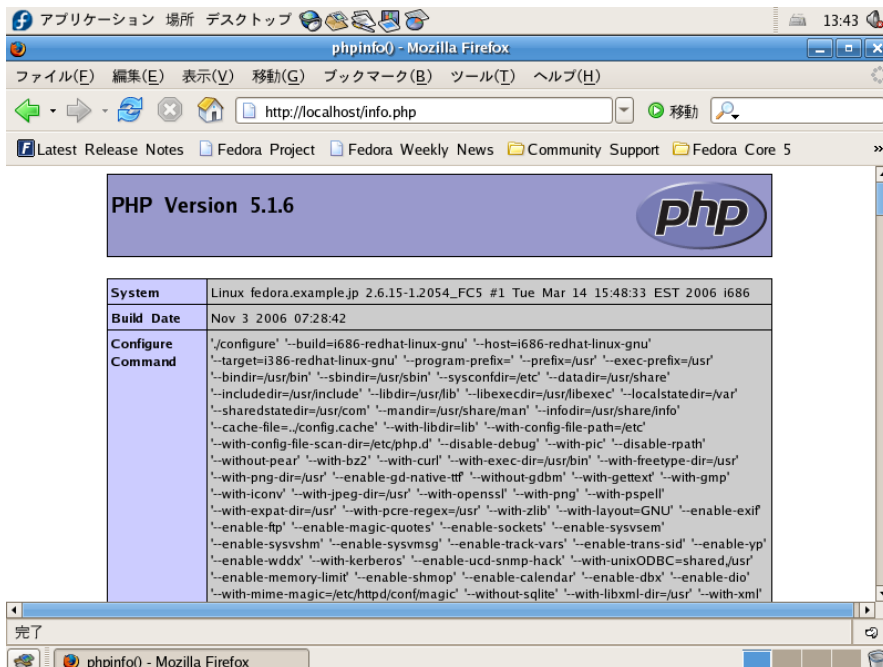
2. Apache を停止・再起動します。

```
[root@nc etc]# service httpd restart
httpd を停止中:           [ OK ]
httpd を起動中:          [ OK ]
```

3. PHP の動作を確認します。エディタで以下の内容のファイルを作成して、`/var/www/html` ディレクトリに `info.php` という名前で保存してください。

```
<?php
phpinfo();
?>
```

4. Firefox で `http://localhost/info.php` にアクセスします。以下のような画面が表示されれば PHP が動いています。画面をスクロールして、`mbstring`、`mysql`、`gd`、`gmp`、`zlib`、が含まれていることを確認します。`mbstring` のパラメータが正しく設定されていることを確認します。



5. 動作確認が終わったら、セキュリティ確保のため `info.php` を削除してください。

8. MySQL の設定

1. MySQL にログインできることを確認します。

```
[root@nc ~]# mysql
Welcome to the MySQL monitor.  Commands end with ; or ¥g.
Your MySQL connection id is 4
Server version: 5.0.45 Source distribution

Type 'help;' or '¥h' for help. Type '¥c' to clear the buffer.
```

```
mysql> exit
Bye
[root@nc ~]#
```

2. MySQL の root ユーザにパスワードを付けます。以下の例では「rootpass」になっています。

```
[root@nc ~]# mysqladmin password "rootpass"
```

3. 正しくパスワードが設定されたことを確認します。

```
[root@nc ~]# mysql -u root -p
Enter password:          rootpass をタイプしてエンターキーを押す
Welcome to the MySQL monitor.  Commands end with ; or ¥g.
Your MySQL connection id is 4
Server version: 5.0.45 Source distribution

Type 'help;' or '¥h' for help. Type '¥c' to clear the buffer.
```

```
mysql>
```

4. NetCommons のデータベースを作成します。以下の例では、NetCommons データベースの名前は「ncdb」、NetCommons ユーザ名は「ncuser」、ユーザのパスワードは「11111」です。データベース名、ユーザ名、パスワードは任意です。

```
mysql> CREATE DATABASE ncdb DEFAULT CHARACTER SET utf8 COLLATE
utf8_general_ci;
```

```
Query OK, 1 row affected (0.00 sec)
```

```
mysql> GRANT ALL PRIVILEGES ON ncdb.* TO ncuser@localhost IDENTIFIED
BY '11111';
```

```
Query OK, 0 rows affected (0.00 sec)
```

```
mysql> exit
```

```
Bye
```

```
[root@nc ~]#
```

5. ユーザ ncuser で MySQL にログインできることを確認します。データベース ncdb に接続できれば設定完了です。

```
[root@nc ~]# mysql -u ncuser -p
Enter password:          11111 をタイプしてエンターキーを押す
Welcome to the MySQL monitor.  Commands end with ; or ¥g.
Your MySQL connection id is 5
Server version: 5.0.45 Source distribution

Type 'help;' or '¥h' for help. Type '¥c' to clear the buffer.

mysql> use ncdb
Database changed
mysql> exit
Bye
[root@nc ~]#
```

9. NetCommons のインストール

NetCommons のインストールの詳細は、「NetCommons2.0 管理者マニュアル（日本語）」を参照してください。マニュアルのダウンロード URL は以下です。

<http://www.netcommons.org/ダウンロード/その他資料/>

以下の説明では要点のみ記述します。

9.1. NetCommons のダウンロード

1. NetCommons サーバーの Firefox で NetCommons 公式サイトから最新版の NetCommons for Linux(tar.gz 形式)をダウンロードします。ダウンロード URL は以下です。

<http://www.netcommons.org/ダウンロード/コアパッケージ/>

注) NetCommons サーバーからインターネットにアクセスできない場合は、適当なパソコンに NetCommons for Linux(tar.gz 形式)をダウンロードして、ローカルネットワーク経由または USB メモリや CD-ROM で NetCommons サーバーに転送してください。

注) パソコン上で NetCommons を解凍してから NetCommons サーバーに転送する場合は、必ず NetCommons for Windows(zip 形式)をダウンロードします。NetCommons for Linux をパソコン上で解凍すると、解凍ツールに種類によっては正しく解凍できない事例が報告されています。

2. ダウンロードした NetCommons の圧縮ファイルを、/tmp 等の適当なディレクトリに

解凍して、`html` サブディレクトリ以下にあるすべてのディレクトリとファイルを、`/var/www/html` ディレクトリに移動してください。解凍後は圧縮ファイルを削除しておくことを推奨します。

3. `webapp` ディレクトリの下に `templates_c` サブディレクトリと `uploads` サブディレクトリがない場合は、サブディレクトリを作成します。

```
[root@nc]# cd /var/www/html/webapp
[root@nc]# mkdir templates_c uploads
```

4. ユーザ `Apache` がすべてのディレクトリとファイルの所有者になるようにアクセス権を設定します。

```
[root@nc]# cd /var/www/html
[root@nc]# chown -R apache *
```

9.2. Apache の設定

1. エディタで `/etc/httpd/conf/httpd.conf` ファイルを開きます。281 行目付近の `[DocumentRoot]` に `"/htdocs"` を追加します。行の最後にスラッシュ (`/`) は付けません。

```
DocumentRoot "/var/www/html/htdocs"
```

2. `httpd.conf` ファイルの 327 行目付近の `[<Directory "/var/www/html">]` 節の `[AllowOverride]` を `[None]` から `[All]` に変更します。

```
AllowOverride All
```

3. その他の項目は、必要に応じて `Apache` のドキュメントを参考にして設定します。
4. `/etc/httpd/conf/httpd.conf` ファイルを保存して、エディタを終了します。
5. `Apache` を停止・再起動します。

```
[root@nc html]# service httpd restart
httpd を停止中:           [ OK ]
httpd を起動中:           [ OK ]
[root@nc html]#
```

6. 「NetCommons2.0 管理者マニュアル (日本語)」の「6. FAQ」 - 「Q7.WEB サーバの `htaccess` が有効になっているかどうかを確認したい」の手順に従って、`.htaccess` が有

効になっていることを確認しておきます。

9.3. install.php の実行

1. ブラウザーで NetCommons サーバーの URL にアクセスするとインストールウィザードの開始画面が表示されます。

例 `http://192.168.0.12/`

注) NetCommons サーバー上のブラウザで作業する場合でも、URL は必ず IP アドレスまたはホスト名 (FQDN 名 : 完全修飾ドメイン名) で指定します。<http://localhost> でインストールすると、他のパソコンから利用できないことがあります。

2. インストール作業に使用する言語選択は[japanese]を選択します。



注) PHP5.3 を使用していて以下のような警告メッセージが表示される場合は、`php.ini` に `timezone` の設定がされているか確認してください。

[PHP_Warning]: `strftime()` [<function.strftime>]: It is not safe to rely on the system's timezone settings. You are *required* to use the `date.timezone` setting or the `date_default_timezone_set()` function. In case you used any of those methods and you are still getting this warning, you most likely misspelled the timezone identifier. We selected 'Asia/Tokyo' for 'JST/9.0/no DST' instead in file `/var/www/html/maple/smarty/Smarty_Compiler.class.php` line 390

`php.ini` の `timezone` の記述例

[Date]

```
date.timezone = 'Asia/Tokyo'
```

`php.ini` を変更した時は、`httpd` サービスを再起動した後で、`install.php` の実行をやり直してください。

3. サイト名称、データベース、パス、URL の設定は以下のように入力します。
 - サイト名称 任意の名前
 - データベースサーバのホスト名 localhost

- データベースユーザ名 ncuser (MySQL のデータベースユーザ名)
- データベースパスワード 11111 (MySQL のユーザパスワード)
- データベース名 ncdb (MySQL のデータベース名)
- テーブル接頭語 nc2 (デフォルトまたは任意)
- NetCommons への URL http://192.168.0.12 (/htdocs は不要)

注) [テーブル接頭語]はセキュリティー管理上、デフォルト[netcommons2]以外に設定することが推奨されています。[NetCommons への URL]の最後にスラッシュ (/) は付けません。

注) /etc/httpd/conf/httpd.conf ファイルで[DocumentRoot]に "/var/www/html/htdocs" を含む設定をした場合は、[NetCommons への URL]で"/htdocs"は不要です。[DocumentRoot] が "/var/www/html" になっている場合は、"http://192.168.0.12/htdocs"(デフォルト)または"http://192.168.0.12"のどちらでもかまいません。

注) バージョン 2.2.0.0 で"/htdocs"を含まない URL に NetCommons をインストールすると、NetCommons のフルバックアップができない問題があります。詳細は、NetCommons 公式サイト[ホーム]-[ヘルプデスク]-[バグレポート一覧]の「htdocs の配置によってフルバックアップが正常に動作しない」を参照してください。

4. 設定内容を確認します。以下、ウィザードの手順に従います。すべての項目が正常（グリーン）になるはずですが、エラー（赤）になる項目があれば、やり直してください。

設定内容の確認

サイト名称	サイト名未設定
データベースサーバ	mysql
データベースサーバのホスト名	localhost
データベースユーザ名	ncuser
データベースパスワード	11111
データベース名	ncdb
テーブル接頭語	nc2
データベースへ持続的接続	いいえ
NetCommonsへのURL	http://192.168.0.12

<<戻る <<設定の再入力

アクセス権のチェック>> 次へ>>

アクセス権のチェック

- ファイルinstall.inc.phpは、書込可です。
- ファイルhtdocs/は、書込可です。
- ファイルuploads/は、書込可です。
- ファイルtemplates_c/は、書込可です。

アクセス権に問題はありません。

<<戻る <<設定の再入力

パス・URLのチェック>> 次へ>>

パス・URLのチェック

- ファイルのパスとURLをチェックしています...
- ルートディレクトリ(ノース格納場所)へのパスを検知しました。
 - アップロードファイル格納場所へのパスを検知しました。
 - 画像ファイル、CSSファイルの格納場所へのパスを検知しました。
 - テーマディレクトリの格納場所へのパスを検知しました。
 - 設定されたURLは、正しい形式です。

NetCommonsのディレクトリへのパス:
 /var/www/html
 NetCommonsへのURL:
 http://192.168.0.12

上記設定が正しい場合は、インストールを続けてください。
 間違っている場合は、設定の再入力を行ってください。

<<戻る <<設定の再入力

再続込

データベースをチェック>> 次へ>>

データベースをチェック

- データベースサーバへ接続できます。
- データベースncdbは存在し、接続可能です。

データベースサーバへの接続に問題はありません。
 下記のボタンをクリックすると、設定を保存します。

<<戻る <<設定の再入力

設定の保存>> 次へ>>



5. [管理者ハンドル]は日誌や掲示板で表示されます。わかりやすい日本語がよいでしょう。
[管理者ログイン]は英数字にします。



データの生成

- 129個のデータがデータベースconfigにINSERTされました。
- 1個のデータがデータベースconfig_seq_idにINSERTされました。
- 7個のデータがデータベースauthoritiesにINSERTされました。
- 1個のデータがデータベースauthorities_seq_idにINSERTされました。
- 23個のデータがデータベースitemsにINSERTされました。
- 115個のデータがデータベースitems_authorities_linkiにINSERTされました。
- 7個のデータがデータベースitems_descdにINSERTされました。
- 2個のデータがデータベースitems_optionsにINSERTされました。
- 1個のデータがデータベースitems_seq_idにINSERTされました。
- 3個のデータがデータベースlanguageにINSERTされました。
- 14個のデータがデータベースpagesにINSERTされました。
- 1個のデータがデータベースmodules_seq_idにINSERTされました。
- 1個のデータがデータベースpages_seq_idにINSERTされました。
- 2個のデータがデータベースpages_users_linkiにINSERTされました。
- 10個のデータがデータベースtextarea_attributeにINSERTされました。
- 4個のデータがデータベースtextarea_attribute_protocolにINSERTされました。
- 4個のデータがデータベースtextarea_protocolにINSERTされました。
- 79個のデータがデータベースtextarea_styleにINSERTされました。
- 42個のデータがデータベースtextarea_tagにINSERTされました。

モジュールのインストール>>

モジュールのインストール

- グローバルファイルのインストール中... 成功
- 権限管理のインストール中... 成功
- バックアップのインストール中... 成功
- ファイルクリーンアップのインストール中... 成功
- 祝日設定のインストール中... 成功
- 携帯管理のインストール中... 成功
- モジュール管理のインストール中... 成功
- 個人情報管理のインストール中... 成功
- ルーム管理のインストール中... 成功
- セキュリティ管理のインストール中... 成功
- サイト共有設定のインストール中... 成功
- システム管理のインストール中... 成功
- 会員管理のインストール中... 成功
- 会員情報のインストール中... 成功
- お知らせのインストール中... 成功
- レポートのインストール中... 成功
- 掲示板のインストール中... 成功
- キ+ビネットのインストール中... 成功
- カレンダーのインストール中... 成功
- チャットのインストール中... 成功
- カウンタのインストール中... 成功
- iframeのインストール中... 成功
- IMAGINEのインストール中... 成功
- 日誌のインストール中... 成功
- 言語選択のインストール中... 成功
- リンクリストのインストール中... 成功
- ログインのインストール中... 成功
- メニューのインストール中... 成功
- 汎用データベースのインストール中... 成功
- オンライン状況のインストール中... 成功
- フォトアルバムのインストール中... 成功
- アンケートのインストール中... 成功
- 小テストのインストール中... 成功
- 登録フォームのインストール中... 成功
- 施設予約のインストール中... 成功
- RSSのインストール中... 成功
- 検索のインストール中... 成功
- Todoのインストール中... 成功
- 新着情報のインストール中... 成功
- 終了処理実行中... 成功

インストール完了>>

インストール完了

サイト

インストールされたサイトを見るには、[ここ](#)をクリックしてください。

但し、「webapp/config/install.inc.php」を書き込み不可(chmod 444)に設定しなければ、インストーラの最初へ戻ります。

NetCommonsの使い方について

ユーザーマニュアルは現在作成されておりません。もうしばらくお待ちください。

サポート

[NetCommons日本語公式サイト](#)を訪問ください。

注意

htdocs直下をドキュメントルートに設定してあるか、.htaccessが有効になっているか再度確認してください。

6. [インストールされたサイトを見るには、ここをクリックしてください。]のリンクをクリックすると、以下が表示されます。

注) インストールに失敗した場合、失敗した原因を確認した上で、データベースのテーブルをすべて削除してやり直します。詳細は「付録 A: データベースの初期化」を参照してください。



7. 管理者ユーザでログインして、以下の画面が表示されれば、インストール完了です。



10. NetCommons の初期設定

インストールが完了したら、「NetCommons2.0 管理者マニュアル (日本語)」 - 「4. 管理用モジュールの使い方」を参考にして、システムやユーザの初期設定をしてください。

11. 付録 A: データベースの初期化

NetCommons のインストールに失敗した場合は、原因を確認した後で、データベースを初

期化してインストールをやり直します。

データベースを初期化する方法は以下の 2 つがあります。どちらでもかまいません。

データベースを初期化する方法：

- phpMyAdmin 等のツールで、NetCommons データベースのテーブルを削除します。名前がテーブル接頭語で始まるテーブルが NetCommons のテーブルです。NetCommons のテーブルをすべて削除します。
- NetCommons データベースを一度削除して、データベースを再作成します。

ここではデータベースを再作成する方法を説明します。

1. MySQL データベースにユーザ root でログインします。

```
[root@nc ~]# mysql -u root -p
Enter password:                パスワードを入力します
Welcome to the MySQL monitor.  Commands end with ; or ¥g.
Your MySQL connection id is 2
Server version: 5.0.45 Source distribution

Type 'help;' or '¥h' for help. Type '¥c' to clear the buffer.
mysql>
```

2. mysql データベースに接続します。NetCommons データベースではありません。

```
mysql> use mysql
Reading table information for completion of table and column names
You can turn off this feature to get a quicker startup with -A

Database changed
mysql>
```

3. NetCommons データベースを削除します。

```
mysql> drop database ncdb;
Query OK, 137 rows affected (0.51 sec)

mysql> exit
[root@nc ~]#
```

4. 「8.MySQL の設定」の手順 4 のデータベース作成からやり直します。

5. 「9.3.install.php の実行」の前に、install.inc.php に書き込み権限を与えます。
注) install.inc.php に書き込み権限がない状態で、ブラウザでインストールを実行すると真っ白な画面になることがあります。インストールが終了すると、install.inc.php は自動的に書き込み不可になります。

```
[root@nc ~]# cd /var/www/html/webapp/config
```

```
[root@nc config]# chmod +w install.inc.php
```

12. 参考情報

12.1. NetCommons 関連書籍

- 私にもできちゃった! NetCommons で本格ウェブサイト
出版社: 近代科学社
ISBN: 978-4764903753
発売日: 2009年8月

12.2. CentOS 関連書籍

- できる PRO CentOS サーバー CentOS 5 対応
出版社: インプレスジャパン
ISBN: 978-4844327141
発売日: 2009年6月
- 実践 CentOS サーバルート養成講座
出版社: 秀和システム
ISBN: 978-4798023052
発売日: 2009年6月

13. 便利なソフトウェア

13.1. Tera Term

TeraTerm Project によって UTF-8 や SSH/SSH2 に対応した「Tera Term Pro」の拡張版。
端末エミュレーターの定番です。

<http://tssh2.sourceforge.jp/>

13.2.phpMyAdmin

MySQL データベースをブラウザからグラフィックユーザインタフェースで管理するための定番ツールです。

http://www.phpmyadmin.net/home_page/index.php

13.3.WinSCP

ファイル転送ソフトウェアです。パソコンで NetCommons を解凍してから NetCommons サーバーに転送する場合、WinSCP 以外のファイル転送ソフトウェアを使うと正しく転送できないことがあります。WinSCP の使い方は、書籍「私にもできちゃった! NetCommons で本格ウェブサイト」の第 4 章を参照してください。

<http://winscp.net/eng/download.php>

14. フィードバック

このドキュメントの一部または全部の引用は自由です。ただし、第三者に配布する場合は本 PDF ファイルのまま配布願います。

内容に関して、ご意見、ご要望、アドバイス等がありましたら、

株式会社テクネコ info@techneco.co.jp

まで、メールでお願いいたします。

このドキュメントの最新版は、株式会社テクネコ Web サイト：<http://www.techneco.co.jp> で配付しています。

15. ご案内

株式会社テクネコでは、NetCommons 関連の以下のサービスを有料で承ります。お客様が希望されるサービスのみお選びいただけます。料金をご依頼いただく内容により異なります。

導入コンサルティング

お客様に最適なサーバーの選択、レンタルサーバー会社との契約、独自ドメインの取得・移転、NetCommons 他のインストール、インストール後の初期設定などをお手伝いします。

NetCommons トレーニング

NetCommons 入門編、NetCommons コンテンツ管理者 基礎編、NetCommons システム管理者 基礎編の 3 種類のコースをご用意しています。日本全国、お客様

の指定先にてトレーニングを開催いたします。

ホームページの一部または全体のデザイン

NetCommons を使ったページのデザインは簡単にできます。お客様に作成していただくことが原則ですが、ご希望があれば弊社にて承ります。

サポート保守契約

技術的なご質問を電話や E メールでサポートします。

運用開始後の改善提案

高度なカスタマイズ、会計・顧客管理・ERP など他システムとの連動、SEO（検索エンジン最適化）、顧客の動線改善、顧客に喜ばれるコンテンツ提案など、NetCommons を活用いただくための支援をさせていただきます。

お問い合わせは

－ 株式会社テクネコ 担当：加藤

〒225-0011 神奈川県横浜市青葉区あざみ野 3-1-6-101

Web : <http://www.techneco.co.jp>

E メール : info@techneco.co.jp

Tel : 090-6108-1324 Fax : 045-904-1020